

とちお

編集と発行 新潟県栃尾市役所 電話 (02585) 2-2151

とちお第一七二号昭和四十六年四月十日発行
毎月十日一回発行(定価一部四四)
昭和三十一年一月二十日第三種郵便物認可



新しいスタート 入学式

さる4月5・6日市内小学校の入学式が行なわれ

ました。ことし入学した児童は、本校16、分校3で547人です。新しいランドセルをしょった児童は、保護者と元気よく登校しました。(栃尾小で)

おもな内容

- ▷ 3月定例市議会結果…… 2・3
- ▷ 予防疫種日程…………… 9
- ▷ 老人医療費が無料に…… 3
- ▷ ぐらしのメモ…………… 10
- ▷ 46年度各会計予算…… 4・5・6・7
- ▷ 栃尾市の文化財…………… 10
- ▷ 市職員人事異動…………… 8
- ▷ 公民館のページ…………… 11
- ▷ とちおと人物(物語)…… 9
- ▷ お知らせ…………… 12

46, 4

№172

人類の平和に貢献する赤十字

一世帯一人は社員に

ことしも、全国いっせいに赤十字社員増強運動が始まります。日本赤十字社は、世界一四か国、赤十字と手をつなぎ、災害救護や血液事業など人命の尊重と世界平和に貢献することを使命として活動を続けています。

国内でも、健康を守るために血液事業、巡回診療をはじめ災害があれば直ちに被災地に出動し、治療、救護にあたるなど、たくさんの仕事をしています。

栃尾市でもこれまでに救急車や災害用天幕などの配分を受けているほか、水害、火災などの被災者

中小企業者に

福祉施設改善資金を融資

県では、中小企業福祉施設改善資金の借り入れ申し込みを四月一日から行なっています。

この制度は、優秀な従業員を確保し作業能率の向上を図るため、企業がなう福利厚生施設の改善充実に資金を融資するものです。

貸付対象者 県内に事業所をもつ常用労働者三〇〇人(商業、サ

くとも一人は加入されこの運動に協力くださるよう望んでいます。近日中に加入のお願い

赤十字社では後日区長さんを通じて、すでに加入されているかたの社費納入と新規社員の加入についてお願いにあがりますから、みなさんの協力をお願いいたします。

ビズ業五〇人)以下
の事業主、および
中小企業である法
人格をもつ中小企業主団体。

貸付対象および使途 従業員宿泊施設、給食施設、教育文化施設などの新築、増設資金や購入資金、および前記施設を設置改善するための建物、土地、それらに付帯する設備備品の取得買収資金。

貸付限度額 所要総経費の九〇%以内で企業内施設の場合最高三〇

心身障害者扶養共済

は昨年九月の広報でもお知らせしましたが、こんど規則が改正され四十五才以上のかたの加入期限が

四十五才以上の加入は
五月三十日まで延長
三月三十一日から六月三十日まで
三か月間延長されました。

このため、将来独立することが

困難な精神薄弱者、身体障害者(一級〜三級)などの障害のあるかたを扶養している満四十五才以上の保護者のかたは、六月三十日までに市福祉事務所(市役所二階)へ申し込みください。

なお、この制度について不明な点がありましたら市福祉事務所(電話二局二二五一 内線二六〇)へお尋ねください。

来年度新規学卒者 求人を受け付け

職業安定所

新しく学校を卒業する人の数が年々減少するに伴い、求人難はますます深刻になってきています。長岡公共職業安定所では、より早く地元企業の実態と求人申し込み状況を学校に周知させ、地元就職を促進するため、つきにより来春卒業する人の求人申し込みを受け付けます。

求人希望される事業所のかたは、早急に雇用計画をたて安定所に申し込みください。

受付開始

- ▽高校卒・大学卒……五月一日
- ▽中学卒・訓練校卒……六月一日



今月の市税

- ▷ 固定資産税
- ▷ 軽自動車税

納期 4月30日

行政相談日

▽とき 四月二十四日
午前10時から
午後3時まで

▽ところ 市役所市民相談室
なんでも気軽に相談ください。

3月市議会の終

上程された三四議案を原案可決

助役に田辺喜作氏を選任

新年度予算案などを審議する三月定例会市議会は、三月十日招集され、二十三日全議案を原案可決し一四日間の会期を閉じました。

今回の議会は、昭和四十六年度当初予算案はじめ助役および公平委員の選任など三四件の議案、議案発議案一件、その他請願、陳情三三件が審議されました。

議会最終日三月二十三日の本会議で、市長は三月二十一日づけで辞任することになった竹内助役の後任に、田辺喜作(総務課長)を選任したい旨議会に諮った結果、満場一致の同意により田辺総務課長が助役に選任され、四月一日就任しました。

助役 田辺喜作

大正八年十月十五日生
住所 大字栃堀四、三五八番地

市公平委員

今井正行 両氏を選任
葦沢安兵衛

市公平委員藤田俊一氏(塩新町)は二月十二日に、また田辺平賀氏(栃堀)は三月十一日死亡されたため、市長は後任委員の選任について議会の同意を求めた結果、つぎ

市長 一七〇、〇〇〇円
助役 一三五、〇〇〇円
収入役 二二五、〇〇〇円
教育長 二一〇、〇〇〇円
議長 四八、〇〇〇円
副議長 三八、〇〇〇円
議員 三五、〇〇〇円

教育委員などの報酬も改定

市三役、教育長および議会議員の給与(報酬)の改定にもない教育委員、監査委員、選挙管理委員など非常勤特別職の報酬もつぎのとおり改定されました。(内は改正前)

教育委員 八、〇〇〇円
監査委員(知事経験) 八、〇〇〇円
監査委員(議会選出) 五、〇〇〇円
選挙管理委員長 三、〇〇〇円
選挙管理委員 二、五〇〇円

竹内助役辞任

市助役竹内正文氏(五一才)は昭和四十二年七月、新潟県長岡財務事務所直轄第一課長から栃尾市助役に迎えられ、三年九か月にわたり市政の進展に尽くされましたが、県にかえることになり三月三十一日づけで辞職され、四月一日



市助役竹内正文氏(五一才)は昭和四十二年七月、新潟県長岡財務事務所直轄第一課長から栃尾市助役に迎えられ、三年九か月にわたり市政の進展に尽くされましたが、県にかえることになり三月三十一日づけで辞職され、四月一日

請願と陳情

採択されたもの
▼西谷小学校校舎改築に関する請願(継続審査分) ▼栃尾青年会議所助成金交付に関する請願 ▼栃尾天使幼稚園増築資金補助に関する請願 ▼県立栃尾高等学校普通科一学級減の復活に関する陳情

市役所隣地一、二七〇平方メートルを購入

予算総額一億二、〇〇〇万円に
45年度補正予算

昭和四十五年度一般会計補正予算が原案可決されました。今回は年度末であるため、各費目とも不用額を減額しましたが、

- ▼市役所隣接地(一、二七〇平方メートル)購入費 三、四七一万円
- ▼し尿処理施設揚水、集水工事費 三六九万円
- ▼勤労青少年ホーム用地購入費 三〇〇万円
- ▼予防接種事故用慰金 一七〇万円
- ▼私立保育所措置委託料追加(既加) 一五〇万円
- ▼道路、橋梁工事地元負担金追加(既決一、五一〇万円)
- ▼田之口橋ほか橋かけ替え工事費追加(既決一、七一〇万円)
- ▼緑ヶ丘宅地造成事業繰出し金追加(既決二〇〇万円)

市では老人福祉を推進するため、四月から①六十五才以上のねたきり老人医療費を全額助成するほか②八十才以上の国民健康保険被保険者の医療費も無料にします。

ねたきり老人の場合

対象者は、市内に住所のある六十五才以上のつぎの人です。
(1)三か月以上常にねたきりの状態にあり、食事、排便、ね起き等日常生活の用の大半を他の介助によらなければならぬ状態にあり、かつその状態が継続すると認められるもの

扶養人数	所得額
1人	978,500円
2人	1,093,200円
3人	1,208,770円
4人	1,323,230円
5人	1,439,000円

老人医療費が無料に

ねたきりと八十才以上の人を対象

市(二階)にあります。また、手続きなど不明な点がありましたら市福祉事務所(電話二二二五)か、地域の民生委員にお尋ねください。

八十才以上の老人の場合

四月一日から、国民健康保険の被保険者で八十才以上のかたは、入院による医療費を除くすべての医療費が無料になります。

▼昭和七年東谷村尋常高等小学校卒業。昭和十年旧東谷村耕地整理組合に就職、後に同村信用販売購買利用組合、栃尾信用組合などに勤務。
▼昭和十七年六月から十八年四月まで徴用により、名古屋三菱重工に勤務。復員後旧東谷村役場に就職したが、翌



年応召により満州に駐留。昭和二十年復員、元職に復す。▼昭和二十九年市制施行により産業課勤務。昭和三十六年保健衛生課長補佐、昭和三十三年五月教育委員会庶務課長、昭和三十一年四月市総務課長に就任。以来七年三代の市長につかえてきました。

田辺新略歴

12億円をこのように使います

— 昭和46年度一般会計予算 —

昭和46年度予算が、3月23日の市議会本会議で原案ど
り成立しました。 総額12億89万円で前年度にくらべ19.6%伸びの大型予算
新年度予算は前号で概略をお知らせしたように、予算
になりましたが、このうちおもな予算についてお知らせ
します。

昭和46年度予算の重点

1. 土木行政を積極的に推進する。特に道路行政に重点を置き、交通の確保と市民活動の利便向上をはかる。
2. 農、林道の整備により地域開発を推進し、農業振興を図る。また農村住民の教養、福祉向上のための設備を建設する。
3. 環境衛生施策の充実をはかるため、継続事業であるし尿処理施設を整備強化する。
4. 老人福祉、児童福祉などの社会福祉の向上をはかる。
5. 文教諸施設を整備充実し、教育成果の向上をはかる。

福祉対策を大幅に推進

児童(4以上) 一人当り五、〇〇〇円

今年度は、昨年新設した児童手当、ねたきり老人に対する見舞金、重症心身障害者見舞金などを増額したほか、新規事業として老人医療費の無料化をはかるなど福祉行政をさらに推進します。

医療扶助

六十五才以上の老人で三ヵ月以上ねたきりの人には、四月から医療費を無料にするため、自己負担分を全額扶助することにし二九五万円を計上しました。

これは県の施策に合わせ県費補助事業として行なうものですが、その他市が昨年から実施した一年以上ねたきり老人に対する見舞金も、これまでの三、〇〇〇円を四、〇〇〇円に引き上げました。

八十才以上老人の医療扶助

八十才以上の老人で国民健康保険に加入している人の医療費(入院費を除く)を無料にするため、これに要する経費一八〇万円を国保会計へ繰り出し、国保事業とし



道路整備費一・八倍に

土木費予算は総額一億九、七〇〇万円で、前年度にくらべ一・四二倍と各予算費目のうちで最高の伸びです。これは、市道主要幹線の舗装お

市道八、六七〇mを舗装

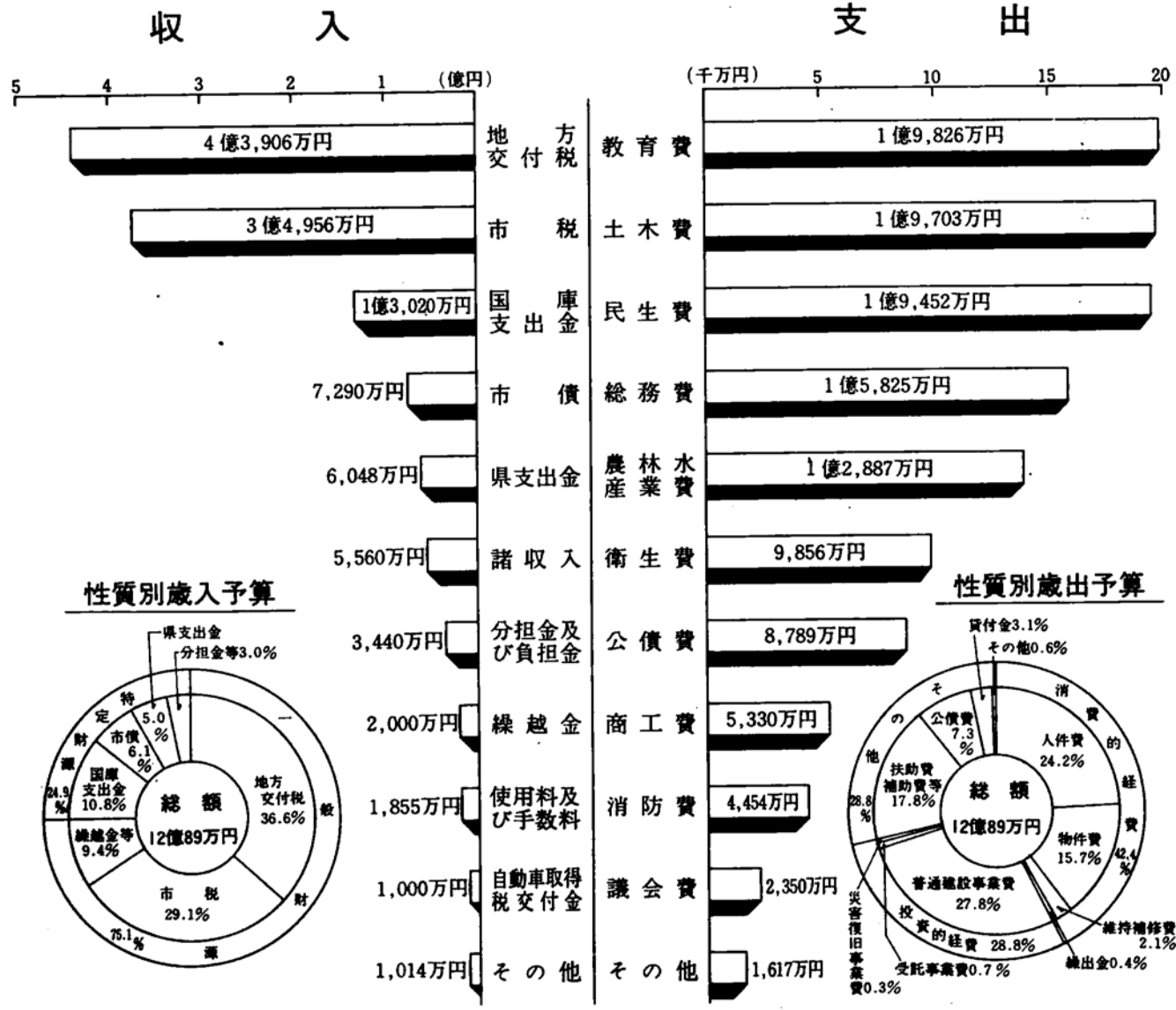
よび改良を大幅に推進するため大きく伸びたものです。道路の新設改良費は九、八七九万円で前年度の一・八一倍、四、四三七万円も増加しています。

赤谷・来伝・松尾線をはじめ東が丘線、沖布・塚新町線ほか二三路線、五、六八〇m(前年三、五〇〇m)を三、六六〇万円で実施します。

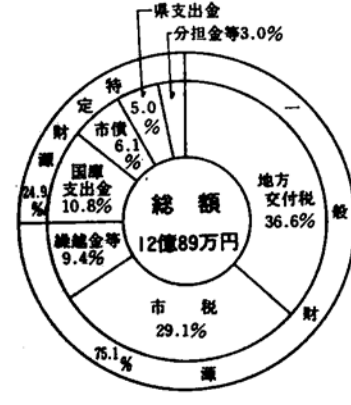
また、急坂道路

は、前年同様生コンによるコンクリート舗装とし、半蔵金区内線ほか二

は、前年同様生コンによるコンクリート舗装とし、半蔵金区内線ほか二



性質別歳入予算



性質別歳出予算



し尿処理施設継続工事

本年度は3,600万円

し尿処理施設の増設については、総事業費五、五〇〇万円で昨年からの二か年計画で工事を進めてきましたが、今年度は三、六二七万円を計上し、八月末までに工事を完成させる予定です。これが完成すると、一日処理能力は一五キロ以上アップされ、四五キロになります。また、昭和四十一年に建設した既存施設は、老朽化し処理能力が低下してきたので三五〇万円をかけて完全修理を行ない、年々増加するし尿の処理に対処します。

この歩道橋は延長三六・五m、幅一・五mの片側歩道橋になる予定です。その他の下水道は、前年に引き続き一〇〇万円で都市下水道の専門家に調査計画を委託するほか、都市計画費では、昨年からの着工した三ヶ村土地改良事業に対し、補助金五〇〇万円を計上しました。

農林道開発で農業振興

土地改良事業に一、九〇〇万円

米の生産調整など、いま農政の再検討がいられていますが、いずれにしても農林業の振興は農道や林道などの土地基盤の開発が必要で、

このため農、林道の開発、土地改良などを積極的に進めます。

宮沢―北河原間の農免道路事業は今年度が最終年であり一六六万円を計上。また、林道工事では、

- 二、一〇〇万円が入塩川林道を前年の継続で実施するほか、新規に平中野保不動線の林道開発を行います。
- 土地改良事業では県単事業九〇〇万円、単市事業一、〇〇〇万円を計画しており、今年度は農業土木専用に湿地ブルドーザーを七〇〇万円で購入してこれら土地改良事業を進めます。
- 米の生産調整に伴う対策としては、つぎのような補助事業で農業振興をはかります。
- ▼稚産共同飼育所付帯事業補助 二五〇万円
- ▼農産物流通事業補助 五〇万円
- ▼畜産振興奨励事業補助 一一〇万円
- ▼養蠶振興事業補助 五〇万円

市民会館建設に着手

設計委託料五五〇万円

長い間市民から望まれていた市民会館は、前年度までに一応調査も終わりことしからいよいよ建設に着手することになりました。

いまのところ建設位置は決まっていますが、早急に位置を決定し用地買収および設計まで今年中に進める予定で、とりあえず五五〇万円の設計委託料を計上しました。

構想としては、大ホールつきの体育館的な市民会館を建設する考

えです。

地域消防に機動性
積載車二台を購入

消防施設関係では、防火用水を五基建設するほか、可搬式ポンプ五台を購入します。また初の計みとして、常に消防ポンプを積んでおくことのできる積載車を二台購入し、消防署から離れた地域の消防力に機動性をもたせます。

プール建設3つ 教員住宅は12世帯分 教育環境整備に重点

年次計画で進めてきた学校プール建設は、二五〇級を東谷中と荷頃小・中兼用の二基、一五〇級を栗山沢小に一基、合計三基を一、〇八九万円を建設します。

数年来改築が望まれていた西谷小学校の改築も、建設位置が決まったため本年度は七五六万円を用地買収（二万平方メートル）と敷地整備を進めます。

また、教員の待遇改善をはかるため前年度に引き続き、一棟二戸

建六棟（上塩小・中、櫻出小、東谷小、塩川小、半蔵金小・中、南中）一二世帯分の教員住宅を一、七二八万円を建設します。

給食運営費補助金は、前年度より大幅に四〇〇万円を増額。一、六三〇万円を計上し給食婦の待遇改善をはかるほか、一四二万円を給食用備品の充実整備を行わない学校給食を推進します。

教育費ではその他教室の照明設備充実をはじめ、児童用机、椅子一、〇〇〇組の入れ替え、中心校である栃尾小学校東屋体の児童便所を四六〇万円を水洗便所に改良するなど、教育環境の整備を重点的に進め、教育の向上をはかります。

第二次拡張事業を実施

今年度は浄水、配水施設を増設

上水道事業

わたしたちの生活に直結する上水道事業の支出予算総額は、一億三、二九四万円です。

このうちおもな建設事業は、第二次上水道拡張事業費六、四〇〇万円です。

これは年々増加する水道の需要に備え、現在の給水人口一五五、〇〇〇人を一五九、〇〇〇人に、また一日最大給水量七、一四〇立方メートルを一五三、三〇〇立方メートルに引き上げようというものです。

事業は三か年の継続で、総事業費は二億五、〇〇〇万円になります。

すが、今年度はその第一年目として浄水施設増設と配水施設の増設を行います。

浄水施設では、栃堀浄水場にブロック形成池、薬品混和池などを増設するほか、沈澱池導水管工事着水弁改造などを行ないます。

また、配水施設の関係では、将来の給水区域拡大に備え緑ヶ丘に配水池を建設するほか、巻洲地区その他に配水管埋設一、一五〇吉水地区に加圧ポンプの設置などを行ないます。

なお、第二次拡張事業は、四十五年度から二か年継続で実施する予定で、昨年二か年継続の事業費

一億二、〇〇〇万円を設定しましたが、水利権の関係から着工できなかったため、今年度改めて三か年計画で着工することになったものです。

このため他市職員の応援を求めると大がかりな事業となるので賃金、雑費、消耗品など一、三三万円を計上しています。

財政負担軽減のため 給与費二名分を減額

国保会計

総予算額は二億一、五〇二万円、前年度より四、二七九万円の減額になっています。

これは特別会計である国保会計の財政負担を軽くするため、職員給与費二名分、一五〇万円を一般会計にふり向けたこと、療養給付

費の受診率をいまだ国の基準率で計算していたのを、当市の受診率がこれより低いので、当市の実績により見込んだため、療養給付費四、一七二万円が減額されたことによるものです。

今年度の新規事業としては、八〇才以上の老人医療費の被保険者負担をなくするため、一八〇万円

予算総額は一億二四九万円で、このうち今年度のおもな建設改良事業費は本支管改良事業、熱量変更事業です。

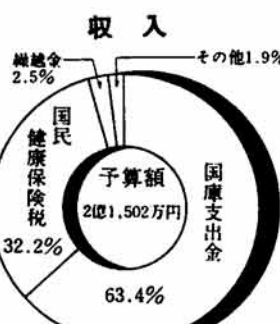
本支管の布設は、緑ヶ丘の二五八号をはじめ巻洲、栄町、吉水北町など一、三七八号を六五七万円を実施します。

熱量変更事業は、ご承知のようにことし八月から現在の四、五〇〇キロカロリを一五キロカロリに引き上げるために行なうものですが、この事業は短期間のうちにはなげればなりません。

企業会計予算

上水道事業	ガス事業
収益的収入 8,427万円	収益的収入 7,875万円
支出 5,671万円	支出 7,155万円
資本的収入 3,328万円	資本的収入 271万円
支出 3,096万円	支出 3,096万円

国保特別会計予算



の無料化を実施します。

市議会議員選挙 投票日 4月25日

棄権しないで
みんなが投票いたしましょう

- ▶投票時間は午前7時から午後6時までです。
- ▶入場券は黄色です。投票には入場券を忘れずに出かけましょう。
- ▶投票場所は入場券に書いてある投票所です。
- ▶投票は自書式投票です。候補者1人の氏名をはっきりと書いてください。

昭和46年度 技能検定

- ▶試験実施
実技 6月27日～9月19日
学科 9月12日か9月19日
- ▶実施職種
織機調整など36職種
- ▶受験申込
5月6日～5月20日

なお、詳しいことは市役所産業課商工観光係（電話 2局2151 内線258）までお尋ねください。

相談日を変更

― 栃尾保健所 ―

保健所では毎月健康相談や精神衛生相談を行なっていますが、四月一日からつぎのように日程が変わりました。

一般健康相談 毎月第一、第三水曜日午後一時から。

精神衛生相談 毎月第一、第三水曜日午後一時三十分から。



庁舎を移転しました
― 長岡労働基準監督署 ―

庁舎移転で長岡労働基準監督署はつぎのところに移りました。

新所在地 長岡市東新町砂山五一〇番の一四

新電話番号 長岡局（〇二五八二）代表二局八七二一。

市職員人事異動総勢六九名

交通公害・環境衛生係を新設

四月一日づけで、市職員の異動がつぎのとおり行なわれまし
た。今回の異動は総務課長の助役就任、議事事務局長、市民課
長、収入役代理の三人の課長級職員が勧奨で退職したことなど
により、総勢六九名というこれまでにない大幅な異動になりま
した。

また、最近における行政需要に合わせ市民サービス向上をは
かるため、四月から企画調査課に交通公害係、保健衛生課に環
境衛生係、総務課に管財係の三つの係を新設したほか、税務課
の課税第一係、第二係をわかりやすい名称にするため、市民税
係、資産税係に改めるなど係名の一部変更を行ないました。

- 〔総務課〕▽課長―植沢芳晴(福
社事務所長)▽課長補佐兼庶務係
長―植村英一(教委学校教育課長
補佐兼学事係長)▽財政係長―林
義信(同課財務係長―係名変更)
▽管財係長―大橋栄蔵(収入役室)
▽統計係長―斎藤礼次(福祉事務
所福祉係長)▽主事―高山辰三郎
(教委社会教育課)
- 〔企画調査課〕▽課長―藤本平太
郎(産業課長補佐兼農林係長)▽
交通公害係長―佐藤伸善(議事
事務局主査)
- 〔市民課〕▽課長―千野善正(保
健衛生課長補佐兼衛生係長)▽課
長補佐兼国民年金係長―高橋光三
(同課国民年金係長)▽公簿係長
―市沢源兵衛(保健衛生課)▽市
- 〔収入役室〕▽収入役代理―植村
盛吾(市民課長補佐兼公簿係長)
▽主事―高橋功(産業課)▽主事
―大崎貞子(教委学校教育課)
- 〔保健衛生課〕▽課長補佐兼環境
衛生係長―藤田英雄(教委社会教
育課長補佐兼庶務係長)▽国保係
長―山井新三郎(保険係長―係名
変更)▽子防係長―藤野トク(同
課保健婦)▽清掃センター係長―
酒井勇(産業課)▽主事―佐藤マ
リ子(市民課)▽主事―村瀬奥衛
(総務課)
- 〔福祉事務所〕▽所長―葛綿源吾
(教委学校教育課長)▽福祉係長
―内山康也(同課主事)▽主事―
佐野善治(税務課)
- 〔勤労青少年ホーム〕▽主事補―
高橋栄作(教委社会教育課)
- 〔議事事務局〕▽局長―橋本三郎
(企画調査課長)▽次長―中西義
栄(税務課)
- 〔農委委員事務局〕▽局長―佐
藤二(総務課長補佐兼庶務係長)

- 〔収入役室〕▽収入役代理―植村
盛吾(市民課長補佐兼公簿係長)
▽主事―高橋功(産業課)▽主事
―大崎貞子(教委学校教育課)
- 〔保健衛生課〕▽課長補佐兼環境
衛生係長―藤田英雄(教委社会教
育課長補佐兼庶務係長)▽国保係
長―山井新三郎(保険係長―係名
変更)▽子防係長―藤野トク(同
課保健婦)▽清掃センター係長―
酒井勇(産業課)▽主事―佐藤マ
リ子(市民課)▽主事―村瀬奥衛
(総務課)
- 〔福祉事務所〕▽所長―葛綿源吾
(教委学校教育課長)▽福祉係長
―内山康也(同課主事)▽主事―
佐野善治(税務課)
- 〔勤労青少年ホーム〕▽主事補―
高橋栄作(教委社会教育課)
- 〔議事事務局〕▽局長―橋本三郎
(企画調査課長)▽次長―中西義
栄(税務課)
- 〔農委委員事務局〕▽局長―佐
藤二(総務課長補佐兼庶務係長)

- ▽主事補―武士俣研二(税務課)
- 〔選挙管理委員会事務局〕▽主事
―箕輪式典(教委学校教育課)
- 〔教委学校教育課〕▽課長―藤崎
信夫(農委委員事務局局長)▽課
長補佐兼庶務係長―諸橋茂雄(庶
務係長)▽学事係長―佐藤陸雄(総
務課)▽主事―鎌田秋江(勤労青
少年ホーム)
- 〔教委社会教育課〕▽公民館長兼
社会教育課長―渡辺英一(同課長
兼公民館副館長)▽課長補佐兼公
民館副館長兼社会教育係長―佐藤
三男次(総務課統計係長)▽庶務
係長―三本久馬(選挙管理委員会
事務局)▽主事―山口光太郎(税
務課)▽主事補―猪俣茂俊(保健
衛生課)

- 〔新採用(四月一日づけ)〕
- ▽総務課 タイピスト―黒目都
- ▽税務課 雇―中沢辰海 田代徳
信 雇―産業課 技術雇―河井宗一
雇―富川隆 雇―カス水道課 雇―
多田強 雇―保健衛生課 雇―内山
忠一 雇―保健婦―坂井幸子 清掃員
―斎藤登喜夫 雇―教委学校教育課
雇―関根堅一 雇―消防署 消防士
―今井工三
- 〔依願退職(三月三十一日づけ)〕
- ▽中島豊子(税務課 主事)▽
酒井慎二(教委学校教育課 主事
補)
- 〔勤美退職(三月三十一日づけ)〕
- ▽武士俣辰三(議事事務局局長)
- 昭和十六年旧東谷村役場に就職
昭和二十九年市制施行と同時に市
議事事務局書記に就任。昭和四十
年四月以来六カ年間は議事事務局
長の要職にあり、合併以後一七年
間にわたり議事事務局に就任、手腕
を発揮されました。(勤続三〇年)
▽安倍 博(市民課長)
- 昭和十四年旧荷頃村役場に就職
昭和三十八年五月戸籍係長、昭和
四十一年四月市民課長補佐、昭和
四十二年八月市民課長に就任。就
職以来三十一年間にわたり、戸籍
事務ひと筋にとめられました。
▽高林恒三(収入役代理)
- 昭和十四年旧折尾町役場に就職
昭和三十九年四月税務課収入係長
に就任、昭和四十五年十月収入役
代理に就任。就職以来三十一年間
にわたり、主として会計事務およ
び税務事務に尽されました。

今月のゆうあい号
4月23日(金)
10時15分
市役所わき

とちおと人物(物語)

流寓の身から 神に祀られる

神南 誠敬

神南誠敬は、今から二四七年前
享保九年五月五日、市内東中野侯
に生まれ、その名を光雄または応
孝(後に与応と改める)といっ
ていました。



生来きわめて英知であり、かつ
て折尾郷の人某から依頼されて「
訴状」を書きました。

このことがときの代官の「忌諱」
にふれ、ついに所私(その住所を
追われる刑)に処せられました。
これから誠敬の流寓の人としての
生活が始まります。

出雲崎へ出張するとき、町役人に
随行して行きました。
誠敬のかいた「袖の時雨」とい
う出雲崎への紀行文の中には「是
は国の守につかふまつれる人のお
ほやけの事につきて、まうでたび
けるに、ともなはれて行けり」と
あります。

三十才のころ、奥州三春家士秋
田季珍について学び、その後京都
吉田澤成舎において、伊勢国津の
人谷川淡齋(土清)によって和語
の奥義を極めました。

また、晩年誠敬五十九才のとき
一か年間、京都吉田学管 松岡雄
淵の門人として遊学しました。
松岡門下は五五か国に及び、そ
の大勢の中で真の許状を受けたの
はそれまでに三人、四人目が誠敬
でありました。

この晩学の成果は大きく、小千
谷における学問文化の始祖として
崇敬され、彼が天明八年六月五日
六十五才で亡くなった後、神に祀
られるに至った要因ともいわれま
す。

昭和46年度 予防接種・健康診断計画表

種別	区分	対象者	接種回数	実施時期											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
定期の予防接種	第1期	昭和44.7.1~昭和45.8.31生	1												
	第2期	昭和40.4.2~昭和41.4.1生	1												
	第3期	昭和34.4.2~昭和35.4.1生	1												
	第4期	昭和28.4.2~昭和29.4.1生	1												
小児マヒ(ポリオ)	第1期	昭和45.7.1~昭和45.12.31生	1												
	第2期	昭和45.1.1~昭和45.6.30生	1												
インフルエンザ	小・中学生	小・中学生	2												
	高校生以上	高校生以上	2												
日本国債	初年度	生後12ヵ月以上で初めての者	2												
	追加	前年度接種した者	1												
予防接種	BCG	生後3ヵ月~30才未満の者	1												
	麻疹	上記の接種者、接種性者	1												
健康診断	児童・小学生以上全員	児童・小学生以上全員	1												
	上記のうち精密検査を受ける者	上記のうち精密検査を受ける者	1												

予防接種 問診票で健康をチェック

ことしの予防接
種の日程がさまり
ました。

予防接種を行な
うときは、対象者
に日時、会場など
をお知らせします
が、接種の日程に
従って計画的に受
けるようにしまし
よう。

なお、ことしから乳幼児の予防
接種には、問診票を提出してもら
い健康診断を行ないます。

予防接種には、お子さんの健康
状態がよくわかる保護者のかたが
必ずつき添って来て下さい。

問診票 問診票は予防接種通知と
一諸にお届けします。これは接種
前にお子さんの健康状態を調べる
大切なものですから、内容を記入
し当日会場に持参ください。

暮らしのメモ

春の大そうじ

年一回は畳にも日光浴を

ポカポカと気候もあたたかくなつて、いよいよ大そうじの季節になってきました。大そうじも、順序と時間を考えて計画的にやらなければなりません。特に春の大そうじは、家の中だけでなく外回りのそうじにも十分な時間をかけなければなりません。雪のためにいたんだ雨板、へい配水管なども、大そうじに合わせて修繕しましょう。どこの家庭にもあるのがこの畳です。畳を一年一回くらいは日光浴をさせ、湿気を取り除いてやる必要があります。畳干しは、表が直射日光にあたらぬよう裏側から干し、ふとんとたたき棒で軽くたたきます。強くたたくと糸が切れてしまいますから注意してください。また、畳を元にもどすときは、畳の下に新聞紙を入れておいてください。新聞紙は湿気を防ぐだけでなく、印刷されたインキによって汚物をかたづけ、いっばいになつた堆肥は積み直すか畑に運び畜舎の回りをきれいにしましょう。尿だめも、冬期間くみきれずあふれているのが見受けられます。ふれたら、冬期間くみきれずあふれているのが見受けられます。ふれたら、冬期間くみきれずあふれているのが見受けられます。

消雪後の畜舎管理

春の日ざしが一日と強くなつてきています。畜舎の冬囲いを取り除き、春の陽を家畜に与えましょう。しかしまだ当分の間、朝夕は冷え込みますから、冷え込みには十分注意してください。また、畜産公害が話題になるきようこの頃です。雪消後は、早めに畜舎、堆肥



減り、労力は余ることになります。二人で働らく場合、収入から自家労賃を含まない費用を引いた年間所得が、米と畜産収入を合わせると二〇万円以上でなければなりません。

て防虫の役目も果たしてくれます。しつこい壁：鉛筆の落書きは消しゴムで、クレヨン落書きは砂紙で軽くこすります。

雨のシミ、台所の油シミ、手あかのしみ込んだものは、揮発油、アルコールなどの溶剤に四分の一量の住まいの洗剤を加えた液を、霧吹きでよこれた部分にたっぷり吹きつけ、熱い蒸しタオルでトンと押えるようにたたきます。台所の油よごれ：ガスコンロの回りや換気扇は油よごれですから強力アルカリ性の洗剤を使います。これでごんごな油よごれも、たいてい簡単に落ちてしまいます。

しかし、強力アルカリ洗剤は手をあらしますから注意が必要です。

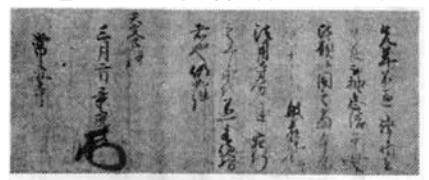
減り、労力は余ることになります。二人で働らく場合、収入から自家労賃を含まない費用を引いた年間所得が、米と畜産収入を合わせると二〇万円以上でなければなりません。

農業改良普及所、農協では、乳牛、肥育牛、繁殖豚、肉豚、養鶏などいろいろな畜産経営について、何頭飼育で、畜舎、施設はどんなものがよいか、あるいはそれにはどれだけの資金が必要か相談に応じていますから利用ください。

安堵状

常安寺

上杉謙信には、いくつかの名前があります。長尾為景の子で最初は長尾虎千代、元服して景虎、上洛して將軍義輝から輝の一字を頂いて輝虎。永禄四年上杉憲政の家督を継いで上杉政虎。天正二年四十五才のとき剃髪法体となって謙信となります。常安寺の安堵状は天文二十二年三月二日のもので、景虎と署名してあります。内容は……先年思ひかけぬ戦争の時には、他の者と比較にならぬ程よく忠信を尽された。それで常安寺の開基の縁として、般若院(秋葉大権現)ならびに法用寺分の土地を寄進する。永代他の防げはさせない……という意味のものです。



【景虎安堵状】

その点から栃尾にも常安寺にも、たいせつな文書です。つきに、常安寺の安堵状には、天正九年八月二十九日の景勝のものがあります。内容は「般若院と法用寺の分については、前々通り相違ない」というものです。謙信には、生前二人の養子がありました。一人は景勝といい、上田(六日町)の長尾景景の子です。姉の子ですから、謙信にとっては甥になります。もう一人は、景虎といい、上条氏康の子氏秀です。氏秀は実際は人質でしたが、情深い謙信は人質とすることを気の毒に思い、しかも自分の幼名「景虎」を与えています。

子ども会の育成に重点

新事業として取り組み

最近、子ども会活動が青少年健全育成の面から注目され、各地で子ども会作りや活動が活発におこなわれるようになりました。これは子ども会活動が余暇の善用をとおして子どもの自主性や社会性を養い、次代をなう人としての基礎訓練をするという役割がみなおされたからでしょう。市社会教育課では、昭和四十六年度から全町内、部落に子ども会がつくられることを望んで、一月



【子供会運営で集まった人たちが活動計画を演習】

子ども会とは

最近の子どもはあまり遊ばないといわれます。それは、遊び場の不足、交通事故の激増、テレビやマンガ本の普及などが考えられます。また、教育ママや塾っ子の増

子どもを水から守ろう

これから多い水難事故。融雪期、農業期、またまた子ども水難事故が多くなる時期がきました。県、市町村などでは、いたましい事故をなくするため、毎年四月一日から十月三十一日まで「子どもを水

組織は地域ごとに

子ども会には、子どもたちとよく相談して、町内、部落を基本として組織し、地域のおとなたちが育成するのがよいようです。会員は自由加入がたてまえとなりませんが、できるだけ地域の子ども全員を会員として指導の手をさしおける場

たいせつな育成会

子ども会には、会をあたたく見守り、援助するおとなの組織が必要で、この組織を子ども会育成会といいます。育成会の役割は、子ども会活動の場の確保、教材教具の整備、財政の確立、指導者の確保など子ども会が活動しやすいように側面から援助することが主な仕事です。

貯水槽、下水溝、池など敷えきれないほど危険箇所があります。事故はちよつとしたすきに起きる。子どもの子もりは、老人にまかすことなくしっかりした人がつくことです。

昨年市内では、融雪期の川と古井戸で三件の事故が起きています。これは、川辺で遊んでいた子どもが、あやまって落ちたり、子もりが目を離したすきに起きたものです。

新着図書紹介

利用ください公民館図書

- 世界の文章童話シリーズ(1)〜(15) (研秀出版) 化学繊維Ⅰ、Ⅱ (丸善株式会社) 下々の女(江夏美好) 春の坂道(1)、(2) (山岡荘八) 水質公害関係法令集(文部省) 交通事故処理業務の様式と諸手続便覧(第一法規) 日本民俗資料集(堀秀彦) 現代家庭教育事典(堀秀彦) 山のうた(土橋茂子) 帝國陸軍の最後(1)〜(7) (伊藤正徳) 家紋大図鑑(丹羽基二)
- 三國志(1)〜(3) (吉川英治) 現代の家庭医学(1)〜(5) (田中豊) 最新旅行案内(1)〜(17) (日本交通公社) 挨拶演説の事典(実業之日本社) 新海軍教育百年史(新海軍教育庁) 平将門(山) 海と風と虹と、火の山、西郷隆盛、幕末動乱の男たち 以上(海音寺潮五郎) 沈黙(遠藤周作) 恋ぐるま、剣難女難、万花地獄、江戸三國志 以上(吉川英治) 手あみの教科書(日本ウォーク社) 石門心学(柴田実) 織維の知識(藤原勝彦) 担保(中川善之助) 飼鳥家畜(宇田川竜男) 六法全書(我妻栄) 五人五衰(三島由紀夫)